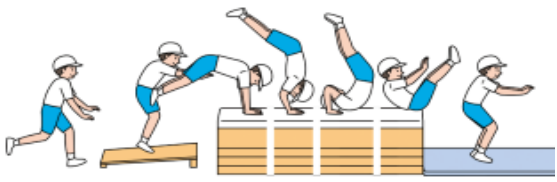


○本時の指導目標（単元構造図と整合性を図る。）

- ・前時までの活動や本時の導入段階で見付けた伸膝台上前転の課題を解決するために、複数の場の中から自己の課題に適した練習の場を選ぶことができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

○学習の展開（学習指導過程）

	学習内容・活動	指導上の留意点・ ★評価規準（評価方法）	学習 形態
導入 10	1 本時の見通しを立て、めあてをつくる。 (1)感覚づくりの運動を行う。 ・今日は馬跳びチャレンジで○秒をめざそう。 (2)全体で取り組むことを確認し、個人のめあてを立てる。 ・足を伸ばしたままの踏み切りができていないから、踏み切りを中心に練習しよう。 ・足がピンと伸びていないから、足を伸ばして回るために練習の場を工夫してみたいな。	○跳び箱運動への意欲を高めるために、グループごとに感覚づくりの運動（馬跳びチャレンジ）を設定する。 ○課題を見付けることができるようにするために、配布したモデルの動画を自己の動きと比較しながら視聴したり、ポイント表を確認したりする時間を設定する。	グループ 一斉
	めあて 自分の課題に合った場を工夫して、伸膝台上前転にチャレンジしよう。		
展開 25	2 動きや場を工夫し、課題を解決する。  (1)場をつくりかえる。 ・足の伸びがわかるように目印をつけよう。 ・腰を高くして回るために段を低くしよう。 (2)繰り返し運動を行う。 ・自分…個人で解決（自力解決・他者参照） ・仲間…仲間と解決（他者交流） ・先生…先生と解決 (3)アドバイスを伝え合う。 ・つま先が遠くを通ることが大切だから、足をピンッと伸ばすところを意識したらいいよ。	○場をつくりかえることができるようにするために、場のモデルを提示し、自己の課題に合った場を選択する時間を設定する。 ○課題解決のために必要な知識を得たり練習の場を工夫したりすることができるようにするために、自分・仲間・先生から学習相手を選択できるようにする。 ○アドバイスを伝え合うことができるようにするために、ポイント表をもとに運動を観察したり撮影動画を見返したりする時間を設定する。 ★見付けた課題を解決するために、自己の課題に適した練習の場を選択している。（様相観察，発言，デジタルポートフォリオ）	個別・グループ・一斉
まとめ 10	4 自己の運動を評価し、学習を振り返る。 (1)できばえを自己評価する。 ・足を伸ばして回ることができた。 ・足が通るところに目印を置いて回ったから伸びを意識して技にチャレンジできた。 (2)振り返りをして、新たな課題を見付ける。 ・〇〇さんのアドバイスから、膝を伸ばすコツがわかったから、次の時間に試したいな。	○できばえを自己評価することができるようにするために、モデルと自己の動きを比較して動画を視聴したり、ポイント表をもとに自己の動きを観察したりする時間を設定する。 ○運動に対する充実感を感じることができるようにするために、今日できたことは何か、なぜできるようになったのかをデジタルポートフォリオに記録する時間を設定する。	個別・グループ・一斉

